

profile
プロフィール



指揮 垣内 悠希 2011年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。フランス国立ポルドー=アキテーヌ管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニック、ミュンスター交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団等、そして日本各地のオーケストラに客演。近年は紀尾井ホール室内管弦楽団、愛知室内オーケストラにもデビュー、ロームミュージックフェスティバル「フィガロの結婚」&「セビリヤの理髪師」(ハイライト)での名演も記憶に新しい。東京生まれ。6歳よりピアノを、14歳より指揮の勉強を始め、東京藝術大学、ウィーン国立音楽大学を卒業。

2歳からピアノを習う。中学校のクラブ活動では吹奏楽部に所属し、じゃんげんに負けずホルンを受け持つ。高校で学生指揮を担当し、指揮の面白さに目覚めて、東京音楽大学および同大学院にて指揮を学ぶ。2017年「ニーノ・ロータ国際指揮者コンクール」でニーノ・ロータ賞(優勝)および聴衆賞を受賞。まだまだ女性が少ない指揮者の世界で日々奮闘している。



井村重人

指揮 松井 慶太 1984年青森県八戸市生まれ。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦に師事。2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。これまでに、ライブツィヒ交響楽団、ドナウ交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団等を指揮。2022年9月よりオーケストラ・アンサンブル金沢コンダクターに就任。2023年4月より東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。



Ayane Shindo

指揮 鈴木 織衛 静岡県清水市(現在清水区)生まれ。小学校3年生の時、楽器屋さんでオーケストラのスコアをお小遣いで購入したのをきっかけに、ピアノで何とか再現する事が面白くて、音楽家になりたいと思い始めた。中学高校では音楽クラブで、色々な楽器の演奏を覚えて、東京藝術大学指揮科に入学。在学中にピアニストとしてデビュー。1996年、ベルリンでのドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。以来、日本各地のオーケストラと共演を重ねている。ポップス等クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、森山良子、加藤登紀子、秋川雅史、レ・フレールをはじめ多くのコンサートを指揮、レコーディングにも参加している。また、東京藝術大学で指揮を教えている。



指揮 碓山 隆一郎 鹿児島県喜界島出身。指揮を広上淳一、汐澤安彦の各氏に師事。東京音楽大学および同大学院修了。マンハイム音楽大学でオーケストラ指揮を学び、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団等と共演。また、ダルムシュタット音楽アカデミーにて合唱やオペラの分野でも研鑽を積む。帰国後は山形交響楽団、群馬交響楽団、横浜シンフォニエッタ、オーケストラ・アンサンブル金沢、愛知室内オーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等へ客演。現在、りゅーとびあ新潟市民文化芸術会館「ジュニアオーケストラ教室」指揮者。



司会 奥村 育子

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院を首席で修了。オペレッタ《こうもり》でデビュー後、東海地方を中心にオペラ、オペレッタに出演する他、「第九」や宗教曲ソロなど多数出演。また、宮川彬良氏作曲《あしたの瞳》に出演するなど、現代の作品への出演も多い。NHK-FM「リサイタル・パッション」に出演。金城学院大学、同朋高等学校 非常勤講師、もりっこ合唱団指導者。



司会 酒井 和音

名古屋音楽大学声楽専攻卒業、同大学院修了。名古屋音楽大学創立50周年記念オペラ『フィガロの結婚』にて主要キャストにて出演。名古屋市とトランス市の姉妹提携記念オペラに出演。オペレッタやミュージカル作品にも多数出演し、ラジオのパーソナリティやケーブルTVでのリポーター経験も持つ。2019年渡伊、イタリアにてエルサ・レスピーギ近代歌曲国際コンクールに出場、マヌエル・アントリーニ賞受賞。



中部フィルハーモニー交響楽団

2000年小牧市交響楽団として設立。2007年中部フィルハーモニー交響楽団へ改称。愛知県小牧市を拠点に「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」を目指して、主に中部圏で精力的に演奏活動を行っている。定期演奏会においては古典から近代まで幅広く、作曲家ツィクルスや新作の初演を行うなど挑戦的でバラエティに富んだ企画と併せて、アンサンブル技術や情熱的な演奏で高い評価を得ている。また、演奏はナクソス・ミュージック・ライブラリーから世界に向け発信され、聴くことができる。これまでに愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞し、「多年にわたる地方自治の発展への功績」に対し愛知県より感謝状を授与された。現在、秋山和慶が芸術監督・首席指揮者、飯森範親が首席客演指揮者を務める。



令和6年度
学校巡回公演

中部フィルハーモニー
Chubu Philharmonic Orchestra
交響楽団

オーケストラ公演



学校巡回公演

全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人日本芸術文化振興会

プログラム・曲目解説

1

オフエンバック： 喜歌劇「天国と地獄」 序曲より「カンカン」

オペレッタ王と名声が高い、オフエンバックの代表作「天国と地獄」は、ギリシャ神話の「オルフェウスとエウリディーチェ」をパロディー劇にしたもので、演奏する「カンカン」は歌劇の終盤で天国・地獄の神々が大騒ぎの場面の曲として登場します。

2

楽器紹介コーナー

オーケストラの楽器は弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の4つのグループに分かれています。そして多くの楽器が使われています。今日はそれぞれの楽器の名前と音色を紹介し、お気に入りの楽器を見つけてください。

3

ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 *指揮者体験コーナー

指揮者って何するの？指揮の仕方をみんなで体験後、児童・生徒のみなさんの中から代表でオーケストラの指揮に挑戦していただきます。「ハンガリー舞曲第5番」は、ゆっくりと始まり、途中でテンポが変わる難易度の高い曲です。指揮者が変わると同じ演奏者、同じ楽譜の演奏がどのように変化するのでしょうか？

4

ベートーヴェン： 交響曲第5番「運命」第1楽章 *オーケストラの中で聴いてみよう

オーケストラの中に入って演奏を聴いてみたいと思ったことはありませんか？今日は、代表の児童・生徒のみなさんにオーケストラの中に入って奏者の近くで演奏を聴いていただきます。「ジャジャジャジャー」から始まる大迫力のサウンドをお楽しみに！

5

楽器体験コーナー

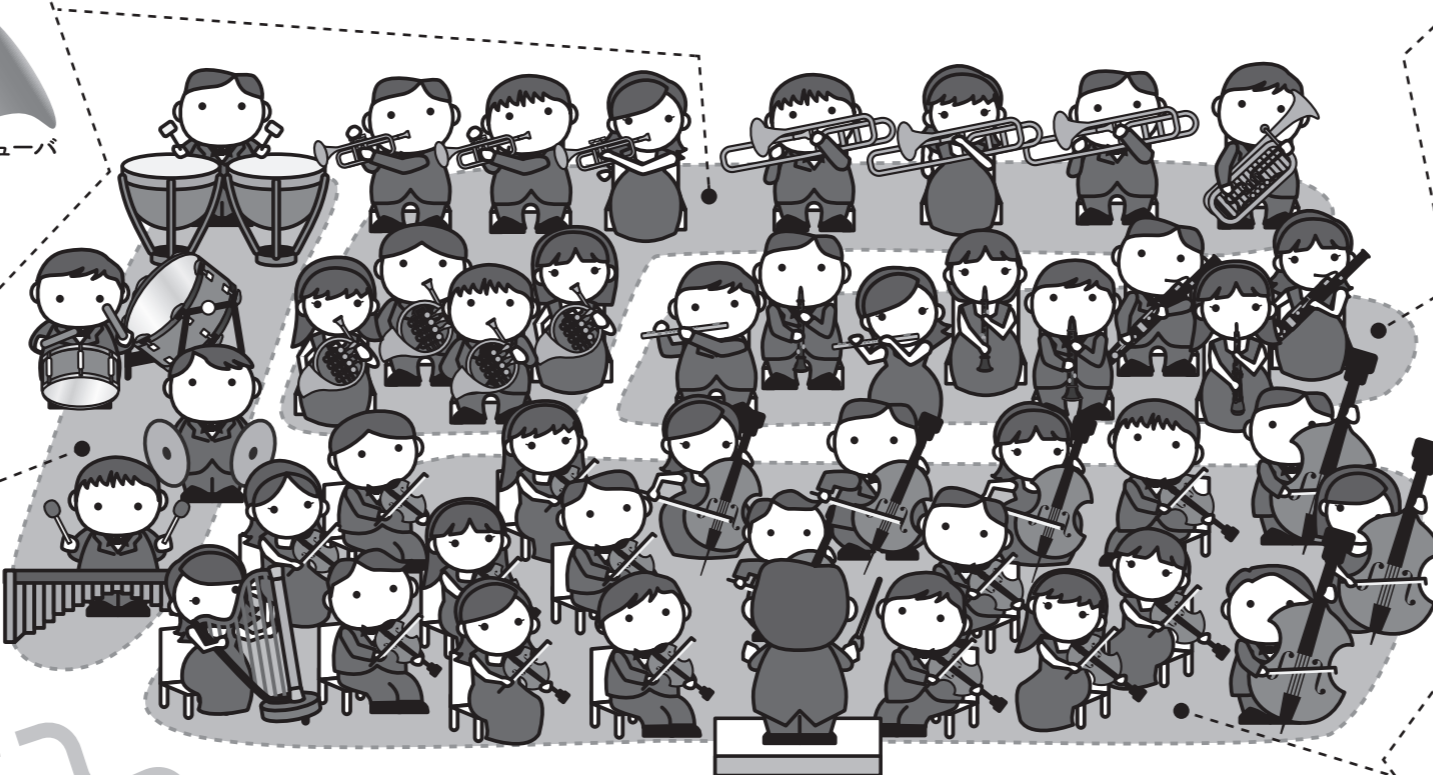
オーケストラで使われている楽器はどうやって奏でられているのか、プロの演奏家から実際に教えてもらいながら体験してみよう！

金管楽器

金属でできた
ラッパの仲間たちだよ！



たくさんの楽器が大迫力の音楽を奏でるよ！！



木管楽器

木でできた
笛の仲間だよ！



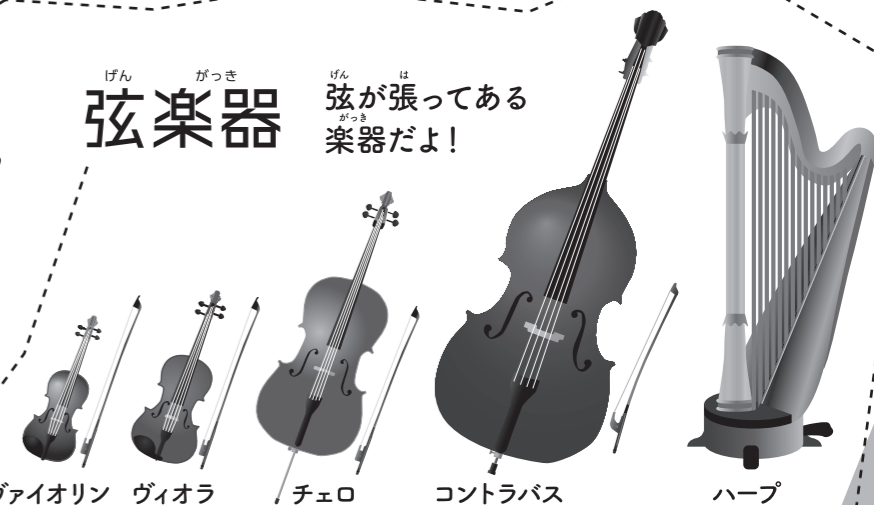
打楽器

叩いて音を出すよ！



弦楽器

弦が張ってある
楽器だよ！



6

ビゼー：組曲「アルルの女」より 「ファランドール」

「アルルの女」の舞台となるプロヴァンス地方の民謡のメロディーが2つ使われています。1つは重厚感あふれる「3人の王の行列」、一方で軽やかにリズムを刻む「馬のダンス」。この2つのメロディーが順番に登場しますが、最後は2つのメロディーが合体してフィナーレを迎えます。コンサートでも人気の曲です。

7

クイズコーナー 「オーケストラの名曲で 生き物クイズに挑戦！」

ある生き物をイメージした曲を演奏します。どんな生き物の曲か「さあ、みんなで想像してみよう！」

8

共演コーナー

オーケストラと共演しよう！

- ◆ビリーブ (杉本竜一/作詞・作曲)
- ◆世界がひとつになるまで (松井五郎/作詞 馬飼野康二/作曲)
- ◆ありがとうの花 (坂田おさむ/作詞・作曲)
- ◆ご当地名曲共演

9

エルガー： 行進曲「威風堂々」第1番

イギリスの作曲家エルガーが作曲した行進曲「威風堂々」は当時から人気があり、国王エドワード7世も絶賛しました。有名な中間部の旋律には後に歌詞がつけられ「希望と栄光の国」という名前でイギリスの第二の国歌として愛唱されています。日本では卒業式などでの演奏でおなじみです。

10

校歌

プログラムの最後はみなさんの学校の校歌をオーケストラと一緒に歌いましょう！